



一  
十  
廿  
世

田  
糸



口  
中  
貴  
貴



王羲之(書聖と呼ばれている)  
「蘭亭序」「集字聖教序」  
「興福寺断碑」から字を集めて  
倣書(背臨)で書いています。

やじょうせいらい  
野情世累を遺る わす  
いなかに住み、世のわずらわしさをわすれる  
(白居易)